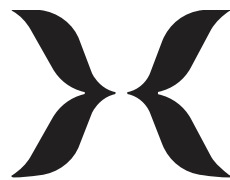


2021（令和3）年度  
卒業生アンケート調査結果



比治山大学  
比治山大学短期大学部

高等教育研究開発センター

2022（令和4）年3月

## 調査の概要

1. 目的 本学卒業生に対し、在学期間を通しての成長実感や現在の役立ち度、また本学への評価・推奨意向を聴取することで、本学の強み・弱みや本学での学びが社会にどう活用されるかを把握し、今後の学校運営施策の一助とする
2. 対象 比治山大学 平成30(2018)年度卒業生(2015年度生)  
比治山大学短期大学部 平成30(2018)年度卒業生(2017年度生)
3. 調査方法 インターネット調査
4. 調査期間 2021(令和3)年10月1日～10月30日
5. 回収状況

	対象者*	回答者数	回収率
■大学	308名	40名	12.99%
現代文化学部 言語文化学科	98名	14名	14.29%
現代文化学部 マスコミュニケーション学科	43名	6名	13.95%
現代文化学部 社会臨床心理学科	44名	3名	6.82%
現代文化学部 子ども発達教育学科	70名	14名	20.00%
健康栄養学部 管理栄養学科	72名	3名	4.17%
■短期大学部	219名	37名	16.89%
短期大学部 幼児教育科	98名	18名	18.37%
短期大学部 総合生活デザイン学科	79名	8名	10.13%
短期大学部 美術科	42名	11名	26.19%
総計	527名	77名	14.61%

6. 実施 高等教育研究開発センター 評価・IR部門
7. 集計 大学・短期大学部に分けて表記した。  
所属・自由記述等の項目は除く。経年で調査する項目を掲載する。

### 卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

#### 【言語文化学科(日本語文化コース)】

- 1 日本語学・日本文学・日本文化および表現・創作に関する専門知識を修得しています。
- 2 自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明できる、高い表現力・理解力および適切なコミュニケーション能力を修得しています。
- 3 地域社会や現代日本における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢とを持ち、豊かな発想力をもって解決策を見出す力を修得しています。

### 【言語文化学科(国際コミュニケーションコース)】

- 1 異文化に関する知識を体系的に理解し、異文化間の摩擦から生じる課題を自ら発見し、解決する能力を修得しています。
- 2 発信型の英語力などの語学の運用に必要な汎用的技能を修得しています。
- 3 国際的な社会人に必要とされる高い倫理観を修得しています。

### 【マスコミュニケーション学科】

- 1 情報社会やマスコミ(メディア)の本質を理解し、社会に貢献する基礎知識とスキルを持ち、社会人にふさわしいコミュニケーション能力を修得しています。
- 2 テレビ・新聞などの在来メディアと、インターネットという新しいメディアの双方に関する基礎知識を有しており、「現場」で求められれば、一定の対応ができる力を修得しています。
- 3 観光文化の基礎知識を有し、「現場」で求められれば、新旧メディアを活用した一定の観光情報の制作・発信ができる力を修得しています。

### 【社会臨床心理学科】

- 1 人間の心や行動について、パーソナリティに代表される個人的要因、および家族、学校、コミュニティ等の社会・文化的な要因の影響を受けていることを理解できる能力を修得しています。
- 2 人間の心や行動に関する現象の原因を、実験や調査および検査といった科学的手法を用いて明らかにできる能力を修得しています。
- 3 心理学的理論や手法を自分自身の理解、さらには社会現象の理解に応用できるようにし、そこにある問題や課題について、実践的にアプローチできる能力を修得しています。

### 【子ども発達教育学科】

- 1 子どもの健全な発達を支援する人間にふさわしい豊かな教養を修得しています。
- 2 人間関係力や自己表現力など社会人として必要な力を修得しています。
- 3 子どもの発達を多面的、総合的に理解する力を修得しています。(子ども理解力)
- 4 子どもの思考力や判断力などの育成を支援できる実践的な指導力を修得しています。(教科学習指導力など)
- 5 地域社会や職場において子育てや次世代育成支援にリーダーシップが発揮できる専門性と行動力を修得しています。

### 【管理栄養学科】

- 1 社会人としての幅広い視野と豊かな人間性を備え、食と健康に常に関心及び社会の福祉に貢献しようとする意思を持ち、生涯にわたって主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けています。(関心・意欲・態度)
- 2 人間のライフステージすべてにわたる健康に係る諸問題について理解するとともに、その適切な解決策を提案できる問題解決力と判断力・思考力・行動力を身に付けています。

(思考・判断)

- 3 専門職としての管理栄養士に必要となるコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有し、チームの一員として一人ひとりの状況に応じた栄養マネジメントや健康指導等を効果的に行なうことができる実践力や指導力を身に付けています。(技能・表現)
- 4 管理栄養士や栄養教諭の職務遂行に必要な高度な専門的知識・技術を身に付けています。(知識・理解)

### 【幼児教育科】

#### 1 知識・理解

- (1) 子どもの心身の健康や発達について理解する。
- (2) 保育の本質と目的について理解する。
- (3) 保育者の役割について理解する。

#### 2 技能

- (1) 子ども一人ひとりの発達段階や心の動きに合わせて援助ができる。
- (2) 一人ひとりの子どもや保護者に対する基礎的な相談・援助ができる。
- (3) 保育の基礎技能を用いた指導ができる。

#### 3 思考・判断・表現

- (1) 保育の記録を通して、子ども一人ひとりの育ちを捉えることができる。
- (2) 子どもの生活に即した保育を構想することができる。
- (3) 自らの保育の過程を振り返り、自己評価できる。

#### 4 態度・志向性

- (1) 子どもの最善の利益を尊重する。
- (2) 人との信頼関係を築き、相互に協力して共に育ち合おうとする。
- (3) 保育者としての社会的責任を自覚するとともに、自己表現の喜びを持つ。

### 【総合生活デザイン学科】

- 1 自己実現をめざして自らの人生をデザインし、社会の一員として共に生きることができる。
- 2 専門分野において確かな知識・技能及び実践力を身に付け、社会で役立つ適材として自立することができる。
- 3 専門性を高め、職業人としての自覚を深め、課題を分析し問題解決する力を身に付けている。

### 【美術科】

- 1 芸術活動や制作活動を通して、自己表現と伝達ができる。
- 2 美術分野における素材や技術に対しての基本的な知識を有し、それらを用いた創造豊かな表現ができる。
- 3 芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持ち、集中力や持続力を大切にして専門性を磨き、社会において豊かな人間関係を築くことができる。

Q2. 本学について、現在、あなたは次の点でどのくらい満足していますか。(各項目1つ選択)

		満足 (%)	やや満 足 (%)	やや不 満 (%)	不満 (%)
授業全般	大学	10.3	61.5	20.5	7.7
	短期大学部	40.5	51.4	5.4	2.7
授業外での教員との関わり	大学	23.1	61.5	12.8	2.6
	短期大学部	51.4	35.1	10.8	2.7
図書館などの学習施設	大学	17.9	53.8	20.5	7.7
	短期大学部	32.4	56.8	5.4	5.4
パソコンなどの情報環境、サポート	大学	12.8	48.7	28.2	10.3
	短期大学部	32.4	43.2	18.9	5.4
就職指導・サポート	大学	23.1	48.7	20.5	7.7
	短期大学部	37.8	32.4	21.6	8.1
学習・その他のサポート	大学	7.7	59.0	25.6	7.7
	短期大学部	29.7	45.9	18.9	5.4
正課外活動(クラブ活動、ボランティア活動、インターンシップ等)	大学	12.8	46.2	41.0	0.0
	短期大学部	29.7	54.1	10.8	5.4
大学生活全般	大学	20.5	53.8	17.9	7.7
	短期大学部	43.2	43.2	10.8	2.7

Q3. 次の点で本学の授業は、現在どのくらい役立っていると思いますか。また現在の自分の実力はどの程度あると思いますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

		授業の役立ち度				自身の実力の自己評価			
		役立っている (%)	ある程度役立っている (%)	あまり役立っていない (%)	役立っていない (%)	十分実力はある (%)	ある程度実力はある (%)	あまり実力はない (%)	実力は不十分 (%)
職業に関連する知識や技能	大学	10.3	35.9	28.2	25.6	2.6	56.4	30.8	10.3
	短期大学部	29.7	40.5	24.3	5.4	13.5	51.4	32.4	2.7
専門分野の知識・理解	大学	12.8	28.2	38.5	20.5	2.6	41.0	41.0	15.4
	短期大学部	35.1	40.5	18.9	5.4	10.8	51.4	35.1	2.7
論理的に文章を書く力	大学	10.3	38.5	30.8	20.5	2.6	33.3	46.2	17.9
	短期大学部	16.2	40.5	37.8	5.4	5.4	37.8	48.6	8.1
外国語活用の力	大学	7.7	23.1	38.5	30.8	2.6	15.4	43.6	38.5
	短期大学部	10.8	16.2	45.9	27.0	5.4	8.1	62.2	24.3
ものごとを分析的・批判的に考える力	大学	5.1	51.3	28.2	15.4	7.7	51.3	30.8	10.3
	短期大学部	21.6	45.9	24.3	8.1	8.1	45.9	37.8	8.1
幅広い知識、ものの見方	大学	12.8	51.3	25.6	10.3	7.7	59.0	23.1	10.3
	短期大学部	29.7	45.9	21.6	2.7	8.1	54.1	32.4	5.4
主体となって調査・研究・発表を行う能力	大学	7.7	35.9	43.6	12.8	10.3	41.0	35.9	12.8
	短期大学部	27.0	40.5	27.0	5.4	16.2	37.8	35.1	10.8

Q4. 以下について、自分にどの程度あてはまると思いますか。(各項目1つ選択)

		あてはまらない (%)	ややあてはまらない (%)	どちらともいえぬ (%)	ややあてはまる (%)	あてはまる (%)
始めたことは何であれやり遂げる	大学	7.7	17.9	20.5	33.3	20.5
	短期大学部	5.4	16.2	16.2	48.6	13.5
頑張りやである	大学	10.3	12.8	30.8	28.2	17.9
	短期大学部	8.1	8.1	21.6	40.5	21.6
終わるまで何カ月もかかる計画にずっと興味を持ち続けるのは難しい	大学	5.1	28.2	46.2	12.8	7.7
	短期大学部	8.1	24.3	37.8	21.6	8.1
私は困難にめげない	大学	15.4	28.2	25.6	28.2	2.6
	短期大学部	5.4	24.3	29.7	24.3	16.2
物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう	大学	5.1	28.2	35.9	28.2	2.6
	短期大学部	0.0	37.8	27.0	27.0	8.1
いったん目標を決めてから、後になって別の目標に変えることがよくある	大学	15.4	23.1	46.2	12.8	2.6
	短期大学部	2.7	24.3	35.1	29.7	8.1
勤勉である	大学	12.8	28.2	48.7	10.3	0.0
	短期大学部	13.5	13.5	43.2	24.3	5.4
新しいアイデアや計画を思いつくと、以前の計画から関心がそれる	大学	10.3	20.5	35.9	28.2	5.1
	短期大学部	8.1	21.6	37.8	29.7	2.7

Q5. あなたは自分自身をどう思っていますか。項目ごとにあてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

		そうだ (%)	まあそ うだ (%)	あまり そうでは ない (%)	そうで はない (%)
私は価値のある人間だと思 う	大学	5.1	46.2	35.9	12.8
	短期大学部	8.1	51.4	29.7	10.8
私は人とうまく協力できる ほうだと思 う	大学	20.5	46.2	20.5	12.8
	短期大学部	24.3	45.9	13.5	16.2
私はいまの自分に満足し ている	大学	7.7	38.5	38.5	15.4
	短期大学部	13.5	24.3	51.4	10.8
私は努力すれば大体の ことができると思 う	大学	10.3	30.8	46.2	12.8
	短期大学部	18.9	51.4	24.3	5.4
私は辛いことがあっても 乗り越えられると思 う	大学	7.7	48.7	28.2	15.4
	短期大学部	24.3	43.2	29.7	2.7
私は怒った時や興奮して いる時でも自分をコント ロールできるほうだ	大学	15.4	41.0	33.3	10.3
	短期大学部	16.2	48.6	24.3	10.8



Q6. あなたは本学を、これから進学する身の回りの人にどの程度お勧めしたいと思いますか。(複数選択不可)

	是非勧めたい (%)	勧めてもよい (%)	どちらかという 勧めたくない (%)	全く勧めたくない (%)
大学	7.7	71.8	20.5	0.0
短期大学部	24.3	64.9	8.1	2.7

Q8. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)を、また、社会人になって自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)※現在働いていない方は、卒業して自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。

現代文化学部 言語文化学科 日本語文化コース		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	ある程度役 立っている (%)	やや役立っ ている (%)	どちらともい えない (%)	あまり役立っ ていない (%)	役立ってい ない (%)	
日本語学・日本文学・日本文化および表現・創作に関する専門知識を修得している。	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	10.0	50.0	20.0	10.0	10.0	
自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明できる、高い表現力・理解力および適切なコミュニケーション能力を修得している。	10.0	30.0	50.0	10.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	
地域社会や現代日本における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢を持ち、豊かな発想力をもって解決策を見出す力を修得している。	10.0	10.0	70.0	10.0	0.0	10.0	20.0	50.0	10.0	10.0	

現代文化学部 言語文化学科 国際コミュニケーションコース		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	ある程度役 立っている (%)	やや役立っ ている (%)	どちらともい えない (%)	あまり役立っ ていない (%)	役立ってい ない (%)	
異文化に関する知識を体系的に理解し、異文化間の摩擦から生じる課題を自ら発見し、解決する能力を修得している。	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
発信型の英語力などの語学の運用に必要な汎用的技能を修得している。	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	
国際的な社会人に必要とされる高い倫理観を修得している。	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	

現代文化学部 マスコミュニケーション学科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	ある程度役 立っている (%)	やや役立っ ている (%)	どちらともい えない (%)	あまり役立っ ていない (%)	役立ってい ない (%)	
情報社会やマスコミ(メディア)の本質を理解し、社会に貢献する基礎知識とスキルを持ち、社会人にふさわしいコミュニケーション能力を修得している。	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	
テレビ・新聞などの在来メディアと、インターネットという新しいメディアの双方に関する基礎知識を有しており、「現場」で求められる、一定の対応ができる力を修得している。	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	
観光文化の基礎知識を有し、「現場」で求められる、新旧メディアを活用した一定の観光情報の制作・発信ができる力を修得している。	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	

現代文化学部 社会臨床心理学科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	ある程度役 立っている (%)	やや役立っ ている (%)	どちらともい えない (%)	あまり役立っ ていない (%)	役立ってい ない (%)	
人間の心や行動について、パーソナリティに代表される個人的要因、および家族、学校、コミュニティ等の社会・文化的な要因の影響を受けていることを理解できる能力を修得している。	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	
人間の心や行動に関する現象の原因を、実験や調査および検査といった科学的手法を用いて明らかにできる能力を修得している。	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	
心理学的理論や手法を自分自身の理解、さらには社会現象の理解に応用できるようにし、そこにある問題や課題について、実践的にアプローチできる能力を修得している。	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	

Q8. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)を、また、社会人になって自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)※現在働いていない方は、卒業して自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。

現代文化学部 子ども発達教育学科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	ある程度役 立っている (%)	やや役立っ ている (%)	どちらともい えない (%)	あまり役立っ ていない (%)	役立ってい ない (%)	
子どもの健全な発達を支援する人間にふさわしい豊かな教養を修得している。	7.1	35.7	35.7	14.3	7.1	14.3	35.7	21.4	14.3	14.3	
人間関係や自己表現力など社会人として必要な力を修得している。	14.3	42.9	28.6	7.1	7.1	21.4	42.9	7.1	21.4	7.1	
子どもの発達を多面的、総合的に理解する力を修得している。(子ども理解力)	14.3	50.0	14.3	14.3	7.1	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	
子どもの思考力や判断力などの育成を支援できる実践的な指導力を修得している。(教科学習指導力など)	7.1	50.0	21.4	14.3	7.1	14.3	28.6	21.4	21.4	14.3	
地域社会や職場において子育てや次世代育成支援にリーダースhipが発揮できる専門性と行動力を修得している。	7.1	35.7	21.4	28.6	7.1	7.1	35.7	21.4	28.6	7.1	

健康栄養学部 管理栄養学科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	ある程度役 立っている (%)	やや役立っ ている (%)	どちらともい えない (%)	あまり役立っ ていない (%)	役立ってい ない (%)	
社会人としての幅広い視野と豊かな人間性を備え、食と健康に常に関心及び社会の福祉に貢献しようとする意思を持ち、生涯にわたって主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けている。(関心・意欲・態度)	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	
人間のライフステージすべてにわたる健康に係る諸問題について理解するとともに、その適切な解決策を提案できる問題解決力と判断力・思考力・行動力を身に付けている。(思考・判断)	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	
専門職としての管理栄養士に必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有し、チームの一員として一人ひとりの状況に応じた栄養マネジメントや健康指導等を効果的にこなすことができる実践力や指導力を身に付けている。(技能・表現)	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	
管理栄養士や栄養教諭の職務遂行に必要な高度な専門的知識・技術を身に付けている。(知識・理解)	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	

Q8. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)を、また、社会人になって自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)※現在働いていない方は、卒業して自身の役に立っている能力についてあてはまるものをお選びください。

短期大学部 幼児教育科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	ある程度役 立っている (%)	やや役立っ ている (%)	どちらともい えない (%)	あまり役立っ ていない (%)	役立ってい ない (%)	
子どもの心身の健康や発達について理解する。	16.7	61.1	11.1	11.1	0.0	22.2	50.0	22.2	5.6	0.0	
保育の本質と目的について理解する。	11.1	55.6	22.2	11.1	0.0	27.8	44.4	22.2	5.6	0.0	
保育者の役割について理解する。	33.3	44.4	11.1	11.1	0.0	27.8	50.0	16.7	5.6	0.0	
子ども一人ひとりの発達段階や心の動きに合わせて援助ができる。	27.8	55.6	5.6	11.1	0.0	22.2	61.1	11.1	5.6	0.0	
一人ひとりの子どもや保護者に対する基礎的な相談・援助ができる。	16.7	61.1	11.1	11.1	0.0	22.2	55.6	16.7	5.6	0.0	
保育の基礎技能を用いた指導ができる。	16.7	55.6	16.7	11.1	0.0	22.2	55.6	16.7	5.6	0.0	
保育の記録を通して、子ども一人ひとりの育ちを捉えることができる。	27.8	38.9	22.2	11.1	0.0	22.2	55.6	16.7	5.6	0.0	
子どもの生活に即した保育を構想することができる。	11.1	66.7	11.1	11.1	0.0	22.2	55.6	16.7	5.6	0.0	
自らの保育の過程を振り返り、自己評価できる。	22.2	44.4	22.2	11.1	0.0	27.8	50.0	16.7	5.6	0.0	
子どもの最善の利益を尊重する。	44.4	44.4	5.6	5.6	0.0	27.8	50.0	16.7	5.6	0.0	
人との信頼関係を築き、相互に協力して共に育ち合おうとする。	16.7	61.1	16.7	5.6	0.0	22.2	55.6	16.7	5.6	0.0	
保育者としての社会的責任を自覚するとともに、自己実現の喜びを持つ。	16.7	55.6	16.7	11.1	0.0	27.8	50.0	16.7	5.6	0.0	

短期大学部 総合生活デザイン学科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	ある程度役 立っている (%)	やや役立っ ている (%)	どちらともい えない (%)	あまり役立っ ていない (%)	役立ってい ない (%)	
自己実現をめざして自らの人生をデザインし、社会の一員として共に生きることができる。	25.0	37.5	25.0	0.0	12.5	50.0	37.5	0.0	0.0	12.5	
専門分野において確かな知識・技能及び実践力を身に付け、社会で役立つ適材として自立することができる。	37.5	50.0	0.0	0.0	12.5	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5	
専門性を高め、職業人としての自覚を深め、課題を分析し問題解決する力を身に付けている。	25.0	50.0	12.5	0.0	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0	12.5	

短期大学部 美術科		達成度					社会人としての役立ち度				
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	ある程度役 立っている (%)	やや役立っ ている (%)	どちらともい えない (%)	あまり役立っ ていない (%)	役立ってい ない (%)	
芸術活動や制作活動を通して、自己表現と伝達ができる。	36.4	36.4	27.3	0.0	0.0	27.3	54.5	9.1	9.1	0.0	
美術分野における素材や技術に対しての基本的な知識を有し、それらを用いた創造豊かな表現ができる。	27.3	45.5	27.3	0.0	0.0	36.4	54.5	0.0	9.1	0.0	
芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持ち、集中力や持続力を大切に専門性を磨き、社会において豊かな人間関係を築くことができる。	27.3	36.4	27.3	9.1	0.0	27.3	36.4	18.2	18.2	0.0	

Q9. あなたご自身のことについてお伺いします。「4×3の比治山力」の12の項目ごとに、ご自身の現在にあてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)※項目の中の「チーム」という言葉は、共同研究・共同発表や授業の中のグループワーク、クラブ・サークル活動や行事参加などで、同じ目標達成や課題解決を目指す集団を指します。

		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)
課題に取り組むために、必要な情報を自分で集めることができる	大学	15.4	48.7	17.9	7.7	10.3
	短期大学部	29.7	51.4	13.5	5.4	0.0
集めた情報に基づいて、論理的に考えることができる	大学	10.3	38.5	33.3	7.7	10.3
	短期大学部	24.3	43.2	27.0	5.4	0.0
自分の興味関心に基づいて、課題やテーマを設定することができる	大学	20.5	35.9	28.2	5.1	10.3
	短期大学部	43.2	32.4	21.6	2.7	0.0
課題に取り組む際に、いろいろなアイデアを考え出すことができる	大学	12.8	33.3	30.8	12.8	10.3
	短期大学部	27.0	35.1	32.4	5.4	0.0
課題解決に向けて、見通しを持った企画・計画を立てることができる	大学	12.8	30.8	35.9	10.3	10.3
	短期大学部	21.6	35.1	32.4	10.8	0.0
自分とは異なる意見にも、耳を傾けることができる	大学	20.5	41.0	23.1	5.1	10.3
	短期大学部	29.7	48.6	18.9	0.0	2.7
課題解決に向けて、まわりの人と意見をやりとりすることができる	大学	15.4	48.7	17.9	7.7	10.3
	短期大学部	24.3	48.6	21.6	2.7	2.7
チームに貢献できるような行動をとることができる	大学	12.8	43.6	28.2	5.1	10.3
	短期大学部	29.7	43.2	21.6	2.7	2.7
他者との意見交換から、自分の意見の正しいところと間違っているところを振り返って把握することができる	大学	12.8	43.6	25.6	7.7	10.3
	短期大学部	18.9	59.5	18.9	0.0	2.7
自分やチームのアイデアを、レポートや作品などの形として表現することができる	大学	7.7	30.8	30.8	17.9	12.8
	短期大学部	21.6	45.9	27.0	2.7	2.7
効果的な表現方法でプレゼンテーションをすることができる	大学	12.8	25.6	33.3	17.9	10.3
	短期大学部	16.2	35.1	27.0	16.2	5.4
自分で気づいて発見した社会や地域の課題について、解決に向けて取り組むことができる	大学	7.7	30.8	38.5	10.3	12.8
	短期大学部	16.2	43.2	27.0	10.8	2.7

## 令和3年度 卒業生アンケート調査分析結果

### 【目的】

本調査の目的は、卒業生を対象に、本学での学びを振り返り、満足度が高いかどうか、さらに将来の幸福感や精神的健康、意欲などに関連が深いGritと自己肯定感の値が先行研究と比較してどの程度か検証することである。

東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センター(2019)の第2回全国大学生調査の結果と比較すると、「授業全般」「授業外での教員との関わり」「就職指導・サポート」「大学生活全般」の4つの項目において、満足度が統計的に高いことが確認された。特に、「授業全般」「授業外での教員との関わり」「大学生活全般」においては、80%を超える肯定的な回答が得られた。

次に、Grit と呼ばれる根気(「勤勉である」等)と一貫性(「物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう」等)からなる指標については、効果量の検定結果から、先行研究の学生と比べて本学の学生がより望ましい数値であることが示された。具体的には、根気因子で小さい効果量、一貫性因子で中程度の効果量が検出されたことから、本学の学生は、目標を決めたらそれに集中できるという強みがあることが示唆された。

最後に、自己肯定感に関しては、日本の高校生の値と同等であった。

### 【総評】

調査の結果、満足度とGritの値が概ね良好で、卒業生は本学での学びや支援に満足し、卒業後もうまくやっていける特性が強いことが示唆された。一方で、自己肯定感に関しては、高校生と同等の値にとどまった。この点は、低下を食い止めているとも考えるが、国際的な数値と比べると低いこと、この値の高さが学力や意欲、規範意識や自己有用感との関連が指摘されていることから、さらに引き上げられるよう学内での取り組みを検討していきたい。